

ほかにわ

発行所：ほかにわ共和国
発行責任者：志賀俊紀
編集責任者：ほかにわ広報部



許す心 認める心 受け入れる心

デイ雲柿の木の今年のスローガンは、「Diversity & Inclusion」多様性を認め、受け入れ、相互機能で力を発揮するという概念」です。



令和二年八月七日 飛雲荘の上棟式が執り行われた

九月某日、柿の木のスローガンについて、管理者を含む三名の職員で鼎談を行いました。

職場での多様性とはどのように思いますか？

園田指導主事…自分自身が就職したばかりの頃は、職員全員が同じように力を身につけ、とにかく苦手分野を克服しなくてはいけないという雰囲気を感じていました。しかし、昨今では職員それぞれが得意な分野を持ち、それを仕事に活かして補い合っているように思えます。このスローガンがあることで、職員の多様性を認め、長所を伸ばしながら力をあわせて協力する意識が強まる気がします。

原口管理者…初めて（柿の木で）グループホームを建てた時に、そこに入所が決まっている利用者の家族から、「（入所者に）年齢差があり、もっと若い人たちが多くの方が活気があるんじゃないかな」と言われたことがあります。しかし、自分には、学校のように年齢でグループわけるのではなく、こういう施設では、社会がそうであるように、老若男女一緒に暮らすことで、互いを思いやり、寛容することの大切さを知っているのではないかと考えが近くなり、職員でも同じで、年齢が近く、若い人たちが集まる施設は勢いはあるが、その反面不安な要素も大きいと思います。

福田副主任…自分の中で正解となる考えがあったとして、他の人は同じことが正解となるわけではありません。その時に、否定するのではなく、受け入れることもできる考えの多様性が必



上棟札を持つ理事長と常盤施設長

上棟札とは…棟木に触れるように南か東に向けて麻の紐で止めたもの。屋根裏にあり見えないが、ずっと家を見守る札、神様。



要なのだと考えます。それは利用者職員関係なくだれでもあてはまることです。しかし、その正解と思っている相手の考えが、世間一般からみて間違っている場合、どう考えを変えてもらおうのか、その線引きもなくなってはいけません。どちらにせよ、そこにはストレスが大きく関わってくるなど思っています。

スローガンをどう認識しますか？

園田…このスローガンがあつて、本当に助かりました。柿の木に異動となり、みんなに馴染もうとしたときに、足を引っ張ったりして悩むこともありましたが、特に自分は決して器用でなく、不器用な面が多く、引け目を感じることも多かったですが、このスローガンがあることで自分もいていいんだ、受け入れられるんだという自信につながりました。

福田…今回のスローガンは、特定の人だけでなく、職員全員がきちんとその意味をわかっておく必要があると思います。そうしないと、特定の職員が一方的に押し付けているように捉えられてしまう気がします。

原口…自分自身考えが偏ったところがあるという自覚もあります。しかし、こうなつてほしいと願うことで、あなたの考えもあるが、考え方に折り合いをつけてほしいと思うところがあります。このスローガンがあることで、こういう考えがある人もおねと捉えられるようになり、じゃあその人をこっちは考えを変えてほしいときかどうか守りみたいになると思っています。今まで

コロナ禍での今、施設では、面会や帰省の制限を余儀なくされ、家族が自由に会えない日々が続いています。グループホームに入居している増田好秀さんは、毎週土曜日は、自宅に帰省されていますが、現在はそれができない状況です。この状況を、ご家族がどう感じているのか、増田さんのお母様に話を伺いました。

■初めのうちは「仕方ない」と思っていました。長くなるにつれて、帰省することが楽しみだった、子どもにもストレスがたまっていたのかなと思つています。帰省してきているときは、様子もわかっています。帰省していましたが、それもわからなくなりました。声を聞きたくて、電話で話したいけれど、帰りたくなつてがまんできなくなると思つて、それもできずにいます。帰つてこなくなつて、それもいいかなと思つたときもあつたけど、居ることで、自分が元気をもらっていることがわかりました。淋しいです。

長崎県内での感染状況は少しずつ変わってきているので、少しでも会える環境を整えてもらえれば嬉しいです。 増田 弘子

施設の年間目標を「施設を楽しく利用者も楽しく」といった内容が強かったですが、利用者も職員も「あなたはそれでいい」という寛容さを事業所の風土として根付かせたいと考えます。

今後の課題は、利用者や職員にスローガンの真意を伝えていくこと。その中で、こうしていくと決まったら、その方向に一緒に向かってほしいと思います。

特集

ほかにわ共和国に4部ある専門部のうち、今回は研修部をとりあげ、新型コロナウイルスでの混乱でどのように活動し、職員の自己研鑽の場をつくり、どのような成果があったのか尋ねました。

Q. コロナ禍での法人研修をするに当たり、難しかった点を教えてください。
法人専門部の一つである研修部は、「自己研鑽」に努める目的で、法人内研修を組み立てます。法人職員に対し、受講したい研修をアンケートで取り、その中から多くの希望があった内容を年間予定に組み、研修部担当で講師依頼や日程決めをする中、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、法人全体で行う、密になる研修を避けることを強いられました。

とコミュニケーションを図れる「レクリエーション研修」を計画しました。参加しやすい研修であり、利用者との繋がりも更に強くなったようです。

リモート対応オンラインでの研修設備がまだ整っていない中、それでも研修を行う目的を明確にし、各事業所内で開催するよう研修部員が主体となり、創意工夫しながら組み入れ実施しました。夜間の研修に参加が難しい職員からは、事業所内で実施することで参加ができたという声も聞かれました。
Q. 研修を行うのも難しい中、工夫した点はありますか？
予定されているテーマで研修を行うことを原則とし、五月に行った研修には利用者も参加することで職員

六月には「口腔ケア研修」を実施し、各事業所、情報交換を行いながら、過去受講した資料を参考にしながら実施した事業所もありました。事業所ごとに研修内容や仕方について違いはありましたが、特色のある研修を実施することで、今後の利用者支援にも役立つ内容となりました。

Q. コロナ禍を経験し、『これから』に繋がるようなことはありましたか。
コロナ禍の感染拡大の心配はありながらも、八月には地域消防署の方によりAED講習会を開催しました。法人内で実際にAEDを使用する事例もあったこともあったことから、正しい使用の仕方や一連の動きを再度学びたいという事での研修でした。

今後の状況を窺いながらの研修開催ですが、できる限り受講する職員へ、学ぶと共に体験型の研修を計画します。

毎年一月五日、八幡会時代から受け継がれている新年職員研修会については、昭和五十一年第一回が開催され、今年度第四十四回になるに当たり、昨年度の新年研修では、各事業所三か年(第一期)事業計画方針を立てました。しかしコロナ禍の影響を受け状況が変わり、検証することが多々あると思われるが、目標にたどり着けるよう計画から実施へと持つていきます。

私たちが提供するサービスが安全・安心に、当たり前前に過ごせ、その為には職員が健全で前向きな姿勢になれるよう、一部ではあります。冒頭に述べたように「自己研鑽」の為に、ほかにわ共和国法人内研修が活気あるもの・興味あるものを計画していくことが役割であると思っています。

研修部部长 井村 一美



8月のAED講習会の様子。南島原消防署員の方に指導してもらいながら、万が一に備える。

ほかにわ共和国の動き

- 11/14 ほかにわ神社祭
- 12/28 理事会
- ほかにわ歳忘れ祭
- R3/1/5 職員新年研修会

売いたかなう@

- オープンしてはや半年、口之津港ターミナル内の売店「はあとふる」。地元長崎のお土産品、天草のお土産を多数取り揃えて元気に営業中です！
- コロナ禍の影響で口之津港を利用される方々が減り、少々寂しい毎日です。9月上旬に長崎を襲った台風10号により2日間に渡るフェリーの欠航もありました。何かと暗い話題が多いですが、明るい未来がきっと訪れると信じて頑張って営業を続けていきます！
- ターミナル内のテナントには他にもお弁当屋さんやうどん屋さんがあります。



コロナが収束すれば、ターミナルで色んなイベントも予定しております。近くにお越しの際は、ぜひお寄りください。(酒井)

ほかにわ神社祭にも影響が...

ほかにわ神社祭は、毎年、多くの方々を足元にも運んでもらい、大変な盛り上がりを見せていましたが、今年は、利用者の方々を対象とした神社祭になります。こんな時は尚更、元気のよい神輿と掛け声で、この憂鬱な気分と雰囲気吹き飛ばしてほしいものです。

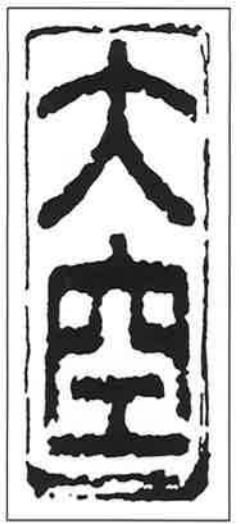
いつもお世話になっている方々、近所の方々、ほかにわ共和国をもっと知りたい方々、この状況が落ち着いた頃にまた、皆様のご参加をお待ちしています！！

家庭菜園を始めて数年：今年も春先に数種類の苗を植えました。そこから草取りと水やりが私の日課となり、起床後はまず畑へ行き、無心で草取りを行います。作業中はとにかく『無』。これがなかなかのストレス発散なんですよ！
来年は「バターナッツ」という野菜苗を頂ける予定なので、今から楽しみにしているところですよ！
家庭菜園仲間の常盤所長！忘れないでください(笑) 悠炉里 大平芳枝

My Farm myコレクション

美味しそうなピーマン出来ました！





障害者支援施設
八雲寮広報部

雲仙温泉「青雲社」へ行ってきました♪

九月十三〜十四日、今年も島鉄バスを貸し切り、いざ雲仙温泉へ！毎年、親子旅行を開催していたが、新型コロナウイルスの影響のため、利用者、職員で実施。今回、観光は中止とし、旅館へ一泊二会席の内容に変更した。

到着後は、手の消毒、モニターでの検温を実施。館内はマスクの着用が徹底しており、ソーシャルディスタンスを保ちながら、安心して過ごすことができました。皆さん、温泉や食事を楽しみにされ、



手の消毒、モニターで検温して館内へ



利用者を代表して片岡健介さんの乾杯で宴会スタート！

工夫しながら前向きに考えていきたいと思う。

(松尾)



限られた内容ではあったものの日頃の疲れを癒し、今年は新型コロナウイルスのため、外出や、月に一度の保護者との面会、一時帰省も中止となり、こういった状況で何か一つでも思い出を作りたいという気持ちで実施することができました。久しぶりの外出ということもあり、大いに楽しむことができましたのではないのでしょうか。行事の中止は簡単ですが、どうすれば共に思い出作りができるか、できるために何が必要なのか、工夫しながら前向きに考えていきたいと思う。

はっぴいマートでお買い物



利用者自治会運営で月に1回「はっぴいマート」売店を開店しています。店舗にはお菓子やジュースなどの飲食物をはじめ、歯磨き粉やシャンプーなどの日用品には目もくれず、お菓子やジュースにまっしぐら！

種類も多いため、どれにするか迷う人もいれば、これがいいとすぐに商品を選ぶ方など様々です。

買い物訓練も兼ね、日常生活の中で楽しみの1つとなっています。これからも工夫を重ねて行きます。(吉田)



今日はクラブ活動♪

月に一度八雲寮ではクラブ活動を行っています。今年度は音楽、創作、習字クラブの三つを行い、中でも習字クラブでは、シルバー人材センターに講師を依頼し活動しています。

始めは自分の名前や季節の文字を書き、楽しく取り組んでいます。作品は、毎年三月に活動発表会で披露する機会がありますので、皆さんの上達ぶりをぜひご覧ください。

(高松)



がんばらんば宣言

毎号掲載しているがんばらんば宣言
今回ご紹介するのは・・・??



作業頑張るぞー!!!

洲崎竜也さん

- ・ラーメンが大好きです
- ・農芸班でジャガイモ、たまねぎ、にんじくの栽培をしています！

じゃがいも雑感！

先日、子供の運動会が行われた。今年は、新型コロナウイルスの影響で例年とは少し違う雰囲気の中で開催されました。

我が子は、かけっこで残念ながら後ろから一番という結果でしたが、「来年こそは」と、張り切っている。本人いわく「牛乳をたくさん飲んで足が速くなる」とのこと。言い訳する所は私に似ている。

私自身、レスリングをしている。勿論良い結果を出す事は重要であります。最も大切な事は、そこまでのプロセスだと思っています。目標に向かう姿勢を我が子や、仕事にも見せていけるように、自分自身も「日々成長」できるように励んでいきたいと思っています。

(宮原)

ほかにわ

10月号 No.199



コロナ禍と福祉サービス

新型コロナウイルスの感染の状況に生活を左右される事が日常的になっています。

福祉施設は人に直接接してサービスを行う業種であり、元々感染リスクが高く、国民に求められている「三密を避ける」ことを意識しながら従来どおりの運営を行うのはかなり難易度が高いといえます。

デイ雲は、幸いこれまで休業することなく生活介護の他、学校の臨時休校中も、放課後等デイのサービスを提供できました。

職員一人一人に感染防止のための行動が求められているのはもちろん、デイ雲は通所でのサービスを行う事



夏祭りの代替行事としてそうめん流しを行った

業所であり自宅から毎日通われている利用者の方も多く、家族の方の協力が不可欠です。

利用者の皆さんには例年通りにサービス提供をすることが難しくなっていますが、行事においても最初から中止の決定をするのではなく、様式や規模を変えて実施できないかを考えていくことが大切だと思います。

中止となった夏祭りの代替行事として口之津町の「東望」で屋外のそうめん流しを行いました。これは、調理員の草野さんに協力を頂いて、竹を使った本格的なもので、利用者の方にも概ね好評でした。

現在、コロナ禍により様々なイベントが中止、延期を余儀なくされる中で、対面でサービスを行う福祉施設だからこそ、新しく考えて創り出せることも多くあるのではないのでしょうか？
(小山)

令和2年 夏休みの思い出

放課後等デイサービスでは、例年8月の終わりに思い出作りの外出を行っています。今年は、コロナ禍のため事業所内でできる行事を計画しました。

「何が食べたい？」と聞いてみると「お好み焼き」との希望があり、子供たちと一緒に手作りの食事を行うことに決定しました。一部の学校では夏休みも終わり、参加者は4名でした。

また、野外活動としていつもの「中庭プール」を虫取りに変更しました。虫取り網を片手にクマゼミやアブラゼミを捕まえて大喜び！！

昼食の時間になり、ホットプレートで次々とお好み焼きを焼き、自分で好みのトッピングをして美味しくいただきました。お腹いっぱいのはずが「まだ食べれるよ」との声もあり、自分で作った昼食は味も格別だったようです。午後はカラオケ大会で盛り上がり、みんなで得点を競いました。最後はデザートのアイスに「やったー」

の歓声。この日、夏休みが最後の日という方もいて、デイ雲で良い思い出作りが出来たようです。

(山本)



手作りおやつを堪能しました

9月14日に手作りおやつを行いました。ステーションほかにわ特性のボルガに、ホイップクリームや果物、お菓子を使って、動物の顔を作ったりと自分で好みのトッピングを楽しく行いました。食べる前に完成したケーキと記念撮影をしました。

オリジナルのおやつはいつもよりおいしいと感想もあり、完食されていました。

コロナ禍のために当初予定していた行事を内容変更して行いましたが、楽しい時間を過ごすことが出来ました。
(光長)



今回紹介するのは、口之津町の自宅から通われている市倉保さんです。
* * *

デイ雲に来る回数は少ないですが、花・野菜班で作業を頑張っています。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年の法人運動会・神社祭は規模を縮小しての実施が計画されました。

雲と虹

秋の行事予定

- ・ハロウィン
- ・作業班別活動

デイ雲では今年度は外出行事の自粛を実施していますが、何もかも中止にしてしまうと利用者の皆さんが楽しめる活動がなくなってしまう。特に外出を伴う行事は利用者の皆さんが楽しみにされている活動です。

例年通り外出が出来なくても、運動会・神社祭と同じように皆さんに楽しんでもらえる方法を職員一同意見を出し合いながら計画しています。

新型コロナウイルスの蔓延が一日も早く収束し、これまで通り楽しく外出できる日が戻ることを願っています。
(福田)

悠炉里

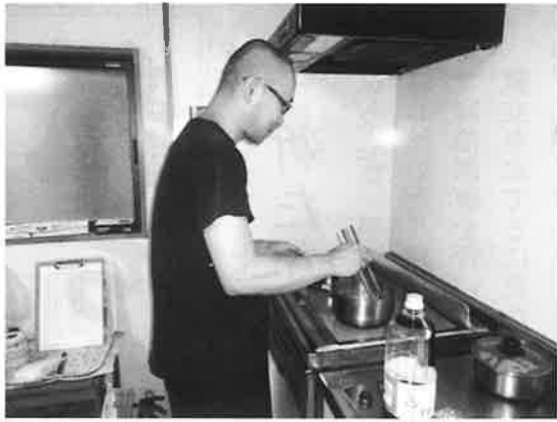
【一人暮らし】を目指して

悠炉里が管理統括するグループホームは地域に10ヶ所あります。その中に一人暮らしを目指して生活しているホーム紫雲荘(定員4名)があります。紫雲荘には4名の個性豊かな利用者の方が住んでいます。

【一人暮らし】というのは、地域のサポートに住んでいて、そこから働きに行くことです。

しかし、その為には幾つかの学習をすることが科せられています。

現状として、小遣いを渡すと計画的に使う事が出来ず使い過ぎたり、食事に関しては、支援員に作ってもらおうのが当たり前になっており、自主的に作るという事がなかったりとまだまだ課題が



苦手だった煮物も作れるようになりました。

共同生活援助事業所

(介護サービス包括型)

悠炉里広報誌

豊かな自分らしい生活を

目標達成に向けて主体的に取り組むことで徐々に経験を暮らしに活かせるようになってくると思います。

(主事 大場康生)



朝・昼・夕の服薬管理も、薬カレンダーを使い自分たちで!

残っています。

地域に出た経験(体験)が少ない利用者にとって多くの体験や情報の中から選択肢を増やしていくことが「豊かな自分らしい」生活に近づいていくと思います。しかしながら選択を誤り、中にはリスクが生じる場合もあると思えます。つまり、リスクや失敗談も含めて社会経験であり、失敗も社会体験として経験することは必要であると思えます。



10月号

スポットライト

いつも笑顔の立木利徳さん



普段は、ワークネットやはたに行かれている立木さん。出身は五島列島で、コロナ混乱前は、正月やお盆には帰省され、家族の話をよく聞かせてくれました。

五島の名物はやっぱり「手打ちうどん」!!立木さんの自慢です(笑)

これからも穏やかな笑顔で、みんなを和ませてください☆

(荒木)

女性ホーム・湧雲荘は「華豊」で中華料理を満喫しました。外食もなかなか行けない状況で、どれだけ待ちわびていたか...(笑)

(竹市)

ホーム活動! 食うポン券でお得に!!

朋雲荘ホーム活動は「天海」で外食を行いました。南島原市から配布された食うポン券を使い、お得に頂くことができました! コロナ禍の中、遠くまで外出できない寂しさも乾杯の音頭で吹き飛びました。量にも、味にも大満足。「来月も食べにきたい」と皆さん喜ばれたホーム活動でした。



カツとじ定食に大満足。よく噛んで食べてね!



皿うどんはやっぱりおいしかね!

今年、利用者と職員だけの少し物足りないような運動会になりましたが、それでも、やることはやりました! 遊戯の練習も就労が休みの日や終わってから、「wa」になっておどろう!」特訓です。フリを覚えたら、リズムに乗ろう♪ どう?できてますか? 笑顔を忘れずにね。

遊戯練習頑張りました!!



今後の行事予定

- ・自治会活動
- ・ホーム活動

こゆるりと

新型コロナウイルス感染症が長期化する中、不要不急の外出自粛に、利用者のストレスが溜まり、支援する側として、どうしたら利用者のストレスを少しでも軽減出来るのかと頭を悩ませていきます。

自分の楽しみを日常生活の中で見つける、一日の中で楽しみがある、一週間先に楽しみがある、情緒も安定し、落ち着いて過ごす事が出来るのではないのでしょうか?しかしながら、現時点では近場での外食、買い物等では楽しみを作つてあげられていません。利用者の声にもっと耳を傾け、日々を楽しく過ごせるよう努力していきます。

(大島)

我ち愛

障害福祉サービス
ワークネットやはた
広報誌 10月号

新たな目標と経験を

立秋も過ぎ、朝晩はほのかに涼しさを感じ始めた八月二十一日。一泊二日で宿泊訓練を行いました。

献立を立てるに当たり、話し合
う中、「バーベキューをしたい」という意見が出ました。しかし、宿泊訓練とは、自立に向けて簡単な調理等を覚える事を目的にしていると再認識する必要もありました。

当日、準備班と買い物班の二班に分かれ開始しました。買い物班では、食材探しや分量が分からず困惑しているようでした。準備班では、掃除や調理器具の準備に時間がかかるなど、まだまだ経験を重ねる必要があると感じました。



炒め方はこれでいいかなあ

感染症に打ち勝つために...

新型コロナウイルス感染症が日本全国で猛威を奮うなか、とうとう私たちの地元でも感染者が出たというニュースが耳に届きました。

以前は、インフルエンザ等の流行時のみマスク着用を行っていましたが、地元での発生に伴い利用者・職員間での集団感染が起きないよう、作業中もできる限りマスク着用を徹底しています。

また、手指のアルコール消毒をこまめに実施し、より一層感染症対策に細心の注意を払いながら、日々の業務に励んでいきたいと思えます。

昼食中も必要最低限の会話に抑えており、食事中に以前のような賑わいは見られませんが、これから新しい生活スタイルを周知しながら徹底していく必要があります。
(白石)

利用者一人ひとりの目的を明確にし、就労・自立へ向けて最適な手段を模索しながら環境を整える必要性を痛感したところです。
(中村)



しっかり予防をしないと！

「暮らす」を共感しながら

作業前や休憩の合間に習慣となっているのが、新聞など読みながら日々の出来事に目を向けることです。「今日もまたコロナの出とる」という会話が毎日のように聞こえてきます。最近はとくに、感染症の話題に敏感反応され読まれています。

しかし、他にも気になるのは広告やチラシです。暮らしていく中で、生活に関する情報も必要不可欠だからです。

様々な事に対して日頃の会話の中で、生活に役立つ情報を共感しながら、「暮らす」事について考えていきたいです。

(山田) どがんニュースの載つとるかなあ



ワークネットやはた この人



名前：森塚 統さん

Q) 趣味はなんですか？
「歌うことです」

Q) 特技はなんですか？
「電卓で計算することです」

Q) 今後の目標は何ですか？

「ワークで作業を覚えて、これから頑張りたいです！」

●昨年から実習の経験を経て、今年4月より生活訓練を利用されています。手先の器用さを活かし、紙加工班で箱折りなどの作業に励まれています。

いま学ぶべきもの

九月七日、記録的な暴風で各地に甚大な被害をもたらした台風十号。観測史上最大と呼ばれる程の台風は、ここ長崎でも多くの被害が出ました。

園芸班では、ブロッコリー等のハウス栽培を行っているので、被害を抑えるために防風ネットを張るなどの対策を取りました。しかし、今回の台風の勢いはその対策に勝るものであり、二棟のハウスは被害を受けました。異常気象が当たり前になってきた



いる今、自然災害について改めて考えていく必要があると感じました。
(宮田)

散歩道

例年、秋に実施してきた一泊旅行。実施の判断に迷う中、利用者・保護者方と会合を持ちました。出掛けることに心配はあるけれど、楽しみの機会をできる範囲で考えてほしいと意見が多かったです。実施するにあたりアンケートをとり、県外の観光地より、近場でも楽しめる内容を計画しています。

生活様式に変化があった今、活動の中身も見直しが求められます。楽しめる機会を続けていくための工夫を考えていきたいと思えます。
(松尾)

しほ、しほ

棟上荘雲飛 風に舞う五色旗

二日後に飛雲荘の上棟式を見守り続けます。この札を迎える八月五日、デイ雲が、棟木のある屋根裏に奉納される上棟は、雨が上がった。人目にふれず、ひっそりとした八月七日の午後無事に執り行われました。



ご近所、利用者入り乱れて、賑わう上棟式

神事に使用する神具を準備は、職員も今後の安全を心に刻む十分な時間となりました。近隣の方々、法人内の別事業所を利用されている方々、柿の木の利用者も参加した餅やお菓子がまかれる儀式は、大いに賑わいました。



アンテナショップ タック 来店ありがとうございました!



昨年引き続き、諫早市にある“アンテナショップ タック”さんに九月の一月間、柿の木製品の展示・販売をさせていただきました。今年度もたくさんのお客様にご来店いただき、大盛況となりました。



また、タックの関係者の皆様にも大変お世話になりました。今後も、諫早アーケードにお越しの際は、タックへお立ち寄りください。(森内)

祐太リフォームに挑戦



私が担当するグリーン班の作業棟には、古くなってしまうた機があります。その機の脚を修繕するよう言われ、新米大工の私は、電動のこぎりと戦うことになりました。木工班担当で、電動のこぎりに慣れていない先輩職員にアドバイスをもらい、どこをどう切るべきなのか、刃をどの向きで入れたらいいのか、試行錯誤しながらやっと一本目の脚を作る事ができました。今度はこの脚を着ける作業か：うまくできたらいいなあ

言の葉

庭の柿の木も自粛したのか、実が一個もなっていない。OVID-19の感染拡大、洪水による堤防の決壊や台風による家屋の倒壊など災害で平和な暮らしが一変する事態が日本中で多発している。まるで水の渦にのみ込まれた柿の葉の様に、自然に対する無力を感じる。

11月の行事

6日 バス遠足・誕生会※

14日 ほかにわ神社祭※

※印は、参加費あり

感謝

イオンの社会貢献活動黄色いレシートキャンペーンの本年の寄付金で、『空気清浄器』を購入いたしました。新型コロナウイルスの影響で、今までにない位、感染症予防に取り組んでいる昨今において、大きな役割を果たしてくれと期待しています。ご協力いただいた皆様に、感謝致します。(加藤)



奇跡恋♡鯉 ある日、いつものように鯉に餌をやっているとき、藻で見えにくくなっている池に、見慣れない小さな影が。なんとそこには、鯉の稚魚が一匹泳いでいるじゃありませんか。有家に柿の木ができてはや九年。池の鯉は大きくなつては野生動物の犠牲となつたり、寒さで冬を越えられなかったりでした。災難を乗り越えて、新しい命が宿るのは初めてなのです。この小さな命が大きくなりますように。(恵理)

表紙での鼎談で書いた様に、今年度からの三ヶ年の当事業所のスローガンは、「多様性と寛容性、相互機能の発揮」だ。このスローガンは、色々な人がいて、いろいろな考え方があり、得手不得手がある。その事を一旦受け入れてみる。その上で、提案された考えが職場や仕事の内容に合致しているかを取捨選択し、決定する心構えを表現している。ITの発達は、膨大な情報の発信と受信を身近にし、効率性の高い便利さを与えた。一方で、情報が使い捨てられるような不安も感じる。個々の考えに「いいね!」と反応し、「やってみようか」と次に発展できる柔軟性を求めている。(由)

『新しい生活』の運動会



運動会当日、柿の木での活動の様子

ほかにわ共和国の三大法人行事と呼ばれる一つ『ほかにわ大運動会』。今年度は例年度と趣向を変え、利用者の方と職員だけの開催となりました。しかし、それでも法人内の人々が集合することは間違いなく、柿の木では、運動会当日の利用を、運動会に参加、ある

は利用を欠席、もしくはは通常の柿の木での利用と、三通りの選択肢を用意し、ご本人、ご家族へ確認することになりました。コロナ禍での安心安全なサービスの方法は、手探りで見つけていくしかないようです。(恵理)

ダウン症研究と杉田直樹(父子)の逸話

ダウン症を福祉文化史研究の視点で見ると、興味深いことがたくさん出てくる。その一つがモンゴリズムの名称がダウン症候群に改称されるまでには、人類蔑視、民族差別、人権の軽視といった側面に新たな知見が見受けられる。1959年、フランス人のレジュヌ等がダウン症の原因を染色体異常によるとした論文が契機となって、名称改称運動の機運は世界に拡散した。

精神薄弱児の研究は、知能測定という科学的な手法に飛躍的な進化を遂げた。つまり、精神薄弱児は、生産性の有無の確認で有用性の分類が始められたといつてよい。それは、欧州世界大戦の最中に、コホート調査が、精神薄弱児の追跡調査に導入された。それまでは、精神薄弱児は、白痴教育という認識で、知能測定という心理学の科学的に指数の提示は画期的なことであった。例えば、ドル博士(1889-1968)は、アメリカのヴァインランド訓練校において、社会生活能力測定法(1952)を開発したが、三木安正(1913-1984)等は、わが国へ輸入し普及させた。この測定法の特徴は、精神年齢指数が低くても、学習した生活の習熟度をカウントすることによって、可能性への道筋をたてる測定であった。特に、精神薄弱児に対して、職業指導を展開する一つの指針になった。

一般的に知能テストといえば、鈴木ビネー式、あるいはクレペリンテストが想起される。その中でクレペリンに関する逸話がある。逸話の発信地は、ほかにわ文庫に保管されていた「茶封筒」にある。実は、ダウン症の資料整理をしていたところ、津曲裕次先生が、大切にされていた一冊の本『杉田裕遺稿集』と同じ棚の「茶封筒」から雑誌の切り取りメモが出てきた。

それは、津曲先生と由縁のある杉田裕の岳父で精神薄弱研究のキーマンである杉田直樹(1887-1949)に関する堀要のメモであった。堀によれば、「私は直接先生(杉田直樹)からうかがったお話を記録しておかなければならないと思う。それは、ビネー・シモン氏メンタルテストを最初に日本に紹介したのが、実は杉田先生だということである。たぶん文献的には、これを紹介した最初が三宅鑛一氏である。」と記載している。

俊紀の部屋で、三宅鑛一を紹介したことがあるが、三宅は南島原市北有馬の出身三宅ゴン斎の孫で、華麗なる医者の名家出身である。堀は、三宅がクレペリンテストの紹介者の裏には、「当時東大医学部4年の学生であった杉田先生が三宅氏に呈供した資料によるものである」と指摘している。

杉田は、ドイツとアメリカに欧米留学しているが、子どもの問題に強い関心を示し、児童治療教育相談室設置をしながら、八事少年寮開設している。その息子・裕は、施設の子どもたちと育ったという。そして裕は、わが国で最初の青島養護学校の教員をしている。いわば、杉田直樹・裕は2代に亘って、特殊教育に尽力した。このように精神薄弱施設には親子代々継承している学園もある。例えば、京都の白川学園(1909)は、広報紙「つくも」を、交流の手段として、ほかにわとも交流があるが、今年、111年を迎えた。現在の施設長脇田宣さんは、創設者脇田良吉から数えて4代目である。いつも読み応えのある機関紙つくも 2020年9月640号は、白川学園の歴史に関わる逸話が掲載されていた。

右の一文は「祈りのまち」の二番の語りのフレーズだ。この歌が歌い始められ、三十七年になる。最近では、ユーチューブで配信され、話題になっていると聞く。それは、小学校五年生だった子供たちが長崎演奏旅行で体験した平和祈念像の前での献歌、やがて四十年になる。そしてその子供たちが昨年春長崎を訪ねて、今年の夏、テレビで長崎の八月九日を知って、貴重な体験をしたと、団長はコンサートで語った。さて、リハーサルでは出せなかった妻さが、本番では、緊張感と集中力で、ものの見事に表現されていた。改めて、危機的状況を乗り越える力を、新型コロナ禍で体現していると感じさせるコンサートだった。

十一時二分を指したまま時計は時を止めた
瓦礫と消えた祈りの館 想いは巡る(としき)



進化し続けるシンガーズ
コロナ禍においてコンサート見学は人数制限等を強いられる、そんな中ユーチューブ配信が行われた。遠く離れる長崎で、少年少女の天使の歌声が自宅で聴こえて来る

まるで魔法のようである。未知のウイルスによって制限さながらも逆手に取れば全国のファンにとつては、絶好の機会となったのである。ところで、シンガーズは今年で結成四十三年になり、高山先生の後継者も育つて頼もしい。再来年の長崎演奏旅行を実現したいと考えている。と伝えられた。幅広い活動に今後も期待したい。志賀常盤

YouTube 動画の探し方

1. "youtube"で検索して YouTube サイトにアクセスする。(URL : <https://www.youtube.com/>)
2. 検索エリアにキーワードを入力し検索
3. 見たい動画の画像をクリック(タップ)すると再生されます

例) "長崎唐寺物語"

上記記事については「多摩ファミリーシンガーズ」のキーワードで、56号で紹介した「しがとしき」名義作詞曲の公開動画は「長崎唐寺物語」「原城恋歌」のキーワードで検索すれば見つかります。(視聴に登録は不要です)

コロナ禍と運動会のボランティアの話

世界の多くの国でイベントが見直されているが、ほかにわ共和国も例外ではない。最も問題なのは地域活性化に欠かせないボランティアに対する認識である。精神薄弱児施設と運動会は密接な関係にあり、わが国の滝乃川学園の運動会、アメリカのケネディ家が起源になるスペーシャルオリンピックすいずれの精神薄弱児・者対象のイベントである。そして、これらを支援する絆は、ふれあいの機微が大切なのである。つまり、「手を取り合う行為」が要求される。

ほかにわ共和国に分離独立してから 17 回の運動会を迎えたが、中学生・高校生・大学生の参加は増加してきた。昨年は、高校の運動クラブが大勢参加して来年も来ますと野球帽を交換してエールを交わしたが、今年はそれが果たせない。残念至極だ。